

平成26年度
地域づくり活動支援体制整備事業
成果報告会

綾町における
ユネスコエコパークを活
用した認証制度の
開発に対する
中間支援活動



綾町マスコットキャラクター
「もりりん」

綾ユネスコエコパークまちづくり協議会

半世紀以上にわたる様々な取組み

綾町のこれまでの取組み

I. 19xx-1975

II. 1976-1985

III. 1986-1995

IV. 1996-2005

V. 2006 ~ 20XX

拡大造林政策

▶ 1962年～1970年 第一次全国総合開発計画

- 1982年5月九州中央山地国定公園へ編入

国の動き

- 1953年～1960年 綾川総合開発事業（綾南/綾北ダム建設）

宮崎県の動き

郷田實町政 1964年～1990年

前田穰町政 1990年～

- 1965年4月 自治公民館発足

- 1973年 一坪菜園運動

- 1975年 綾町の自然を守る条例

- 1976年 青空市場の開設

- 1981年 家畜糞尿処理施設の設置

- 1984年～1989年 あや市（毎週日曜日）の開催

- 1984年3月 綾の照葉吊橋完成

- 1985年 第一回照葉樹林文化を考えるシンポジウムの開催

- 1988年 自然生態系農業の推進に関する条例

- 1989年6月 綾手づくりほんものセンター開設

- 1989年7月 有機農業開発センター設置（有機農産物認証制度）

- 2005年5月～綾の照葉樹林プロジェクト（国・県・町・NGO・市民団体）

2012年7月
ユネスコ
エコパーク
の登録

- 2010年 森林セラピー基地
設置（有機農産物認証制度）グランドオープン

- 2002年10月～

民間の動き

- 「綾の照葉樹林を世界遺産に」署名活動
- 2003年12月 NPO/NGO・企業
環境政策提言フォーラム」出席

綾町の動き

2012年7月
Biosphere Reserve
生物圏保存地域
ユネスコ エコパークに
正式登録！



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



• **Aya Biosphere Reserve**
• Biosphere Reserve since 2012
• Man and the Biosphere Programme
• ユネスコエコパーク
•

ユネスコ エコパークとは？

コアゾーン
核心地域

バッファゾーン
緩衝地域



トランジッションゾーン
移行地域

世界遺産とエコパークの違い

世界
遺産

原生的な自然を保護することを第一の目的としている

指定地域は「核心地域」+「緩衝地域」、例外として「核心地域」のみ

原生的な自然を保護すると同時に、自然と共生した経済活動を実践する地域

エコ
パーク

指定地域は「核心地域」+「緩衝地域」+「移行地域」の3つのエリア

2015/02/17現在
60,056人

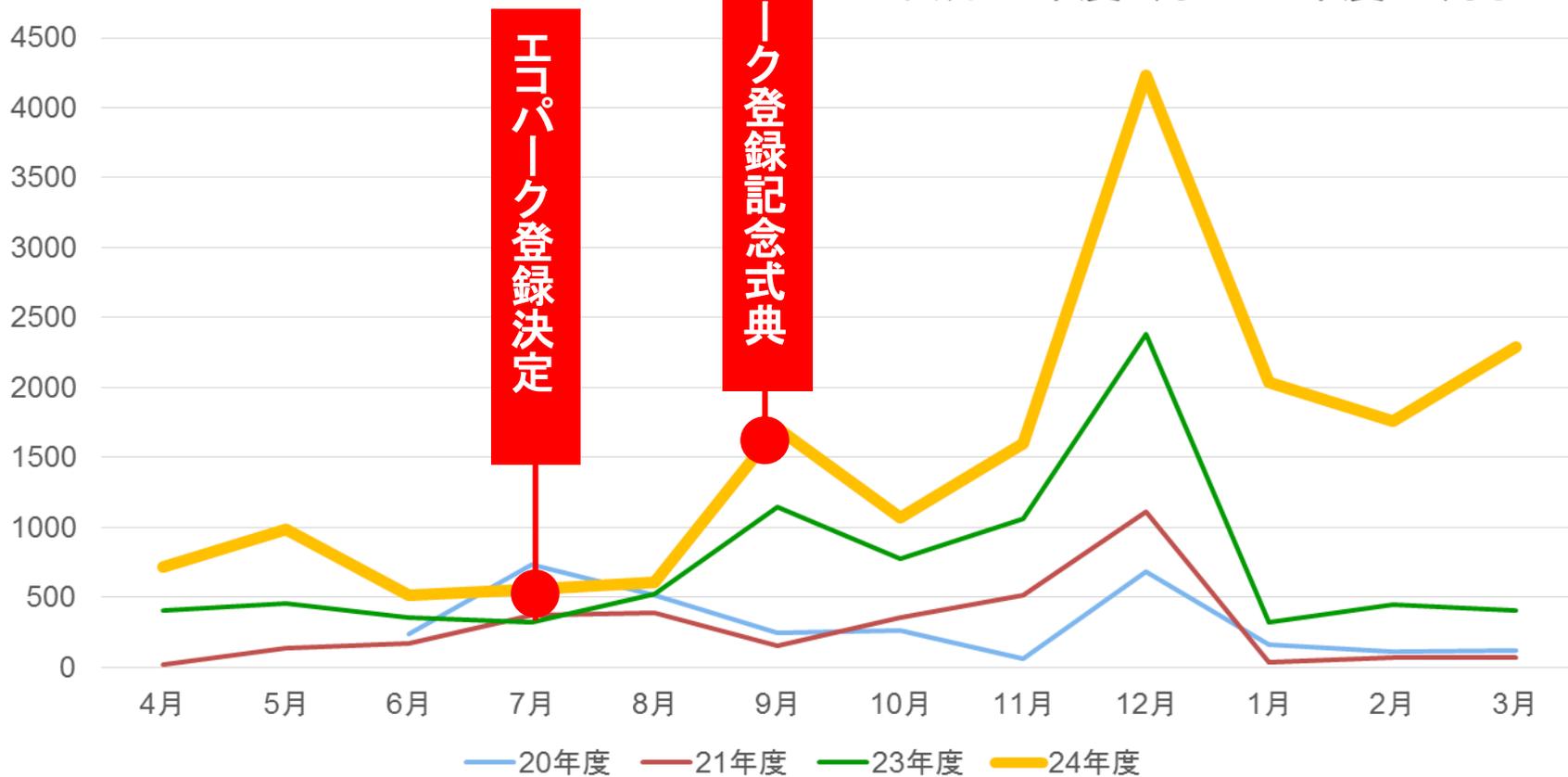
2014年度のふるさと納税者の数

9億55万円

2014年度のふるさと納税合計額

ふるさとと納税寄付金の推移

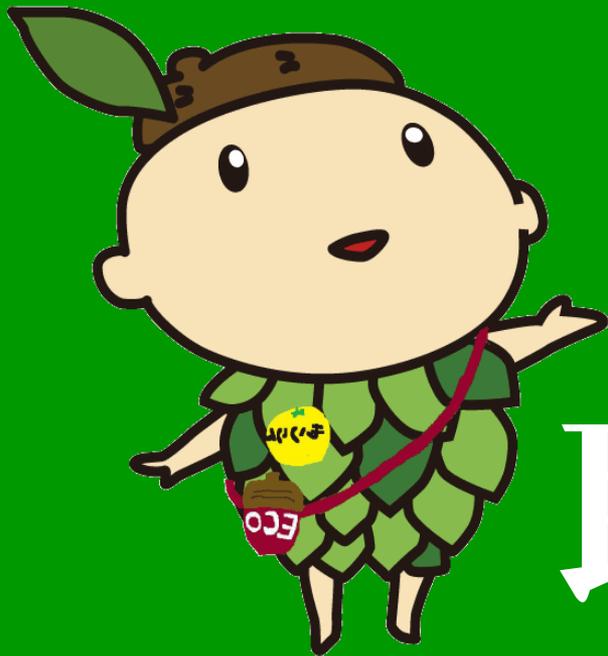
平成20年度6月～24年度12月まで



エコパークを

活かした

取組とは？



綾ユネスコ エコパーク推進計画 基本方針

綾が目指す方向性

未来を築く“人と自然との共生”

綾の地域づくりが世界の地域づくりの
先駆的モデルとなることを目指す！

活動の基本方針

1

生物多様性
の保全と管理

2

地域経済と
社会の発展

3

学術的研究
と支援

エコパーク推進室の組織と役割

- エコパーク推進のためのまちづくりの
コーディネート
- 保護・管理計画の策定および運用
(10年ごとに審査)
- 視察や研究者の受け入れ対応
- 綾町が行う事業等における
各課連携の横断的取り組み推進

ユネスコ
エコパーク
推進室

総務
税政課

企画
財政課

町民
生活課

福祉
保健課

教育
委員会

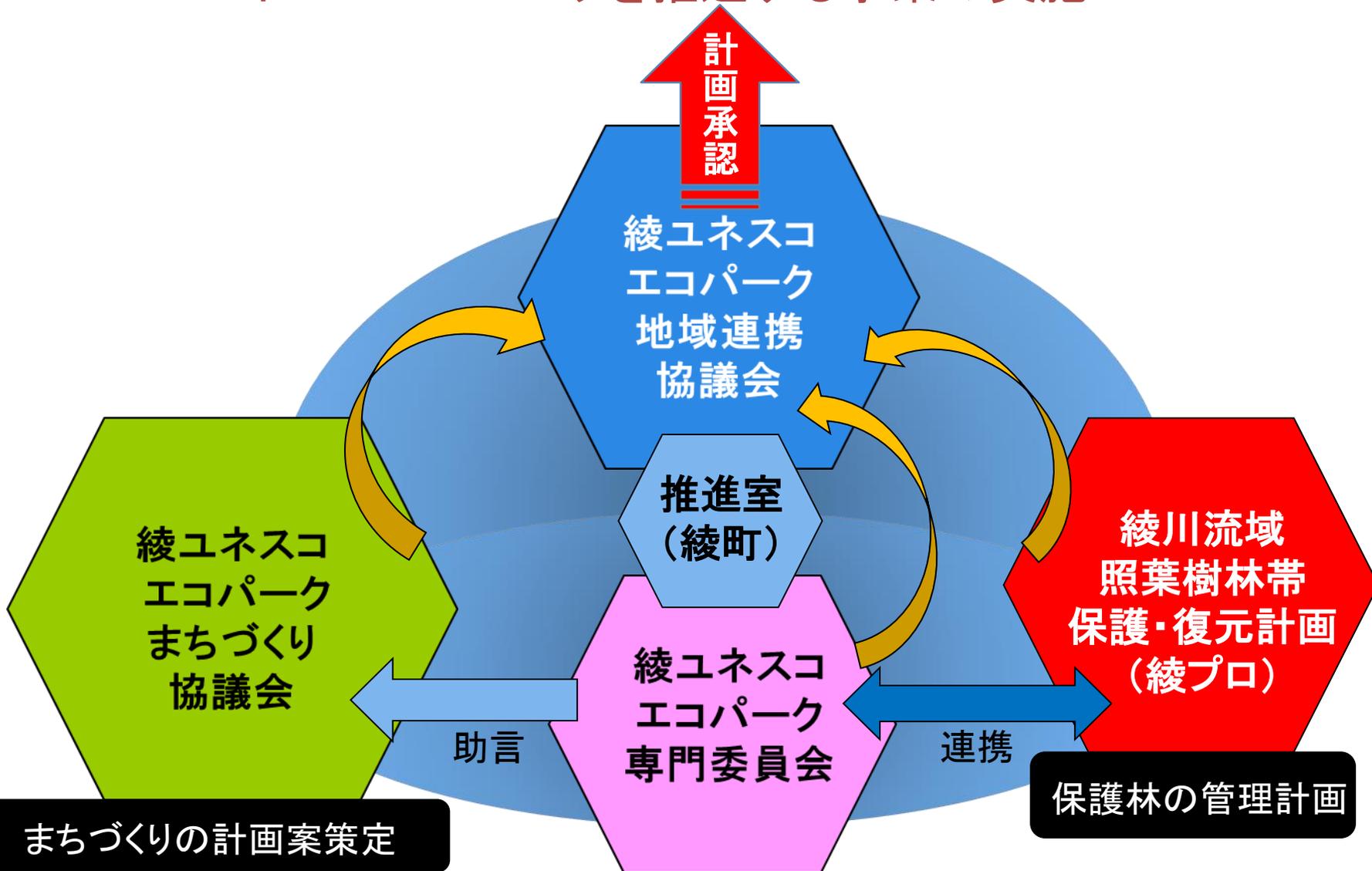
建設課

産業
観光課

農林
振興課

綾 ユネスコエコパークを推進する連携の仕組み

ユネスコエコパークを推進する事業の実施へ！



住民参画の まちづくり 協議会とは？

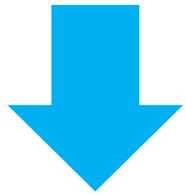


活動の基本方針

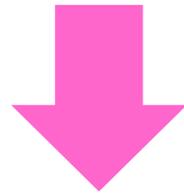
生物多様性
の保全と管理

地域経済と
社会の発展

学術的研究
と支援



知る
守る



創造
つくる



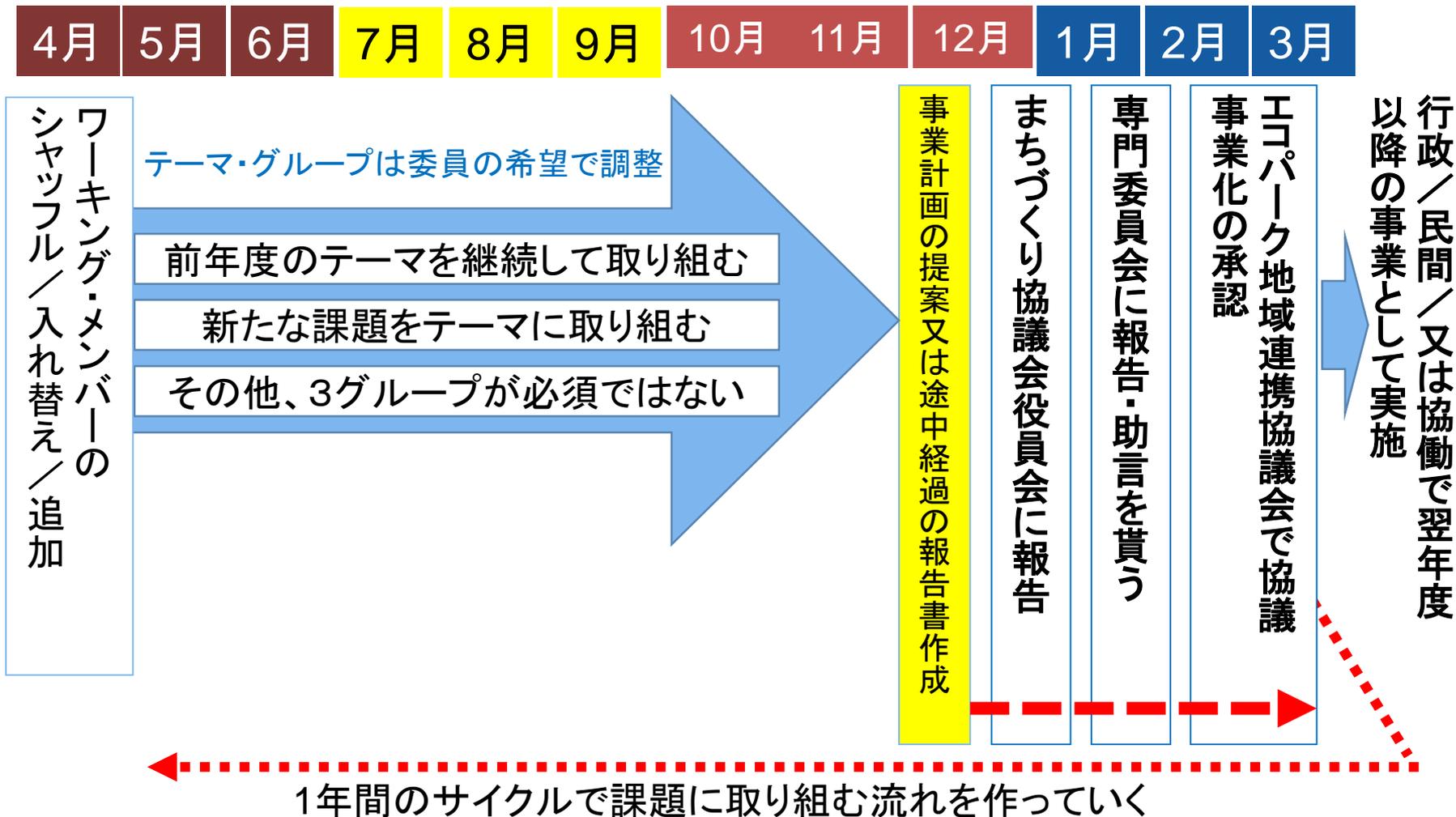
学ぶ
伝える

協議会の立上げ

月1~2回ペースのワーキングの実施



ワーキングの流れ



動き出した協働事業



エコパークに相応しい森にしたい...





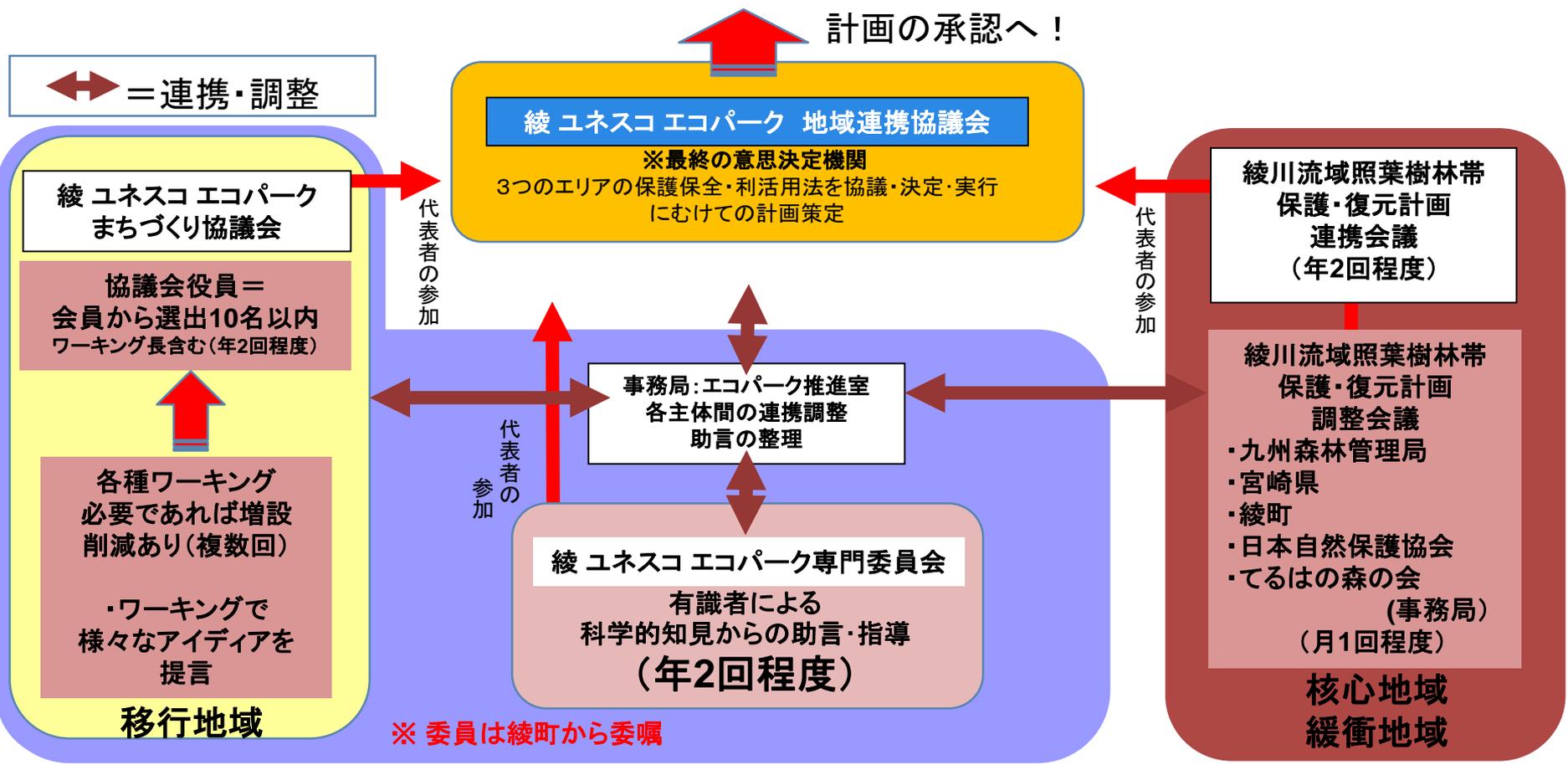
2時間で2t車が満杯になるほど…

認証制度の 開発に対する 中間支援活動 の内容



綾 ユネスコ エコパークを推進する連携の仕組み

ユネスコ エコパークを推進する事業の実施へ！





2014年8月5日
まちづくり協議会設立



2014年8月12日
農家支援センター始動

2. 事業概要

綾町エコパークまちづくり協議会

取組1
エコパーク認証商品の認定制度の
制度設計。基準や利用規定の策定。

取組2-1
エコパーク推奨商品
(モデル商品)の開発

取組2-2
エコパーク認証商品の実験的販売
及び、販売戦略の策定。

取組2-2
エコパーク認証商品及びエコパーク
の認知度を高めるための広報

ワーキンググループ

次年度以降の
事業計画案策定へ

中間支援部会

■綾町エコパーク推進室
事務局・進捗管理・商品開発

■日本政策金融公庫
宮崎支店
事業(資金)計画を指導

■公益財団法人
宮崎県産業振興機構
商品開発・事業計画を指導

■NPO法人 宮崎文化本舗
企画・デザイン・情報発信

■一般社団法人
てるはの森の会
企画・デザイン・情報発信

連携

■ 県フードビジネス
推進課
■ 宮崎大学教育文化学部
等

指導
情報共有

支援
体制
の構築

- 認定制度の設計
- 商品の開発
- バイヤーとの
マッチング
- エコパークと
関連付けた
PRの推進

直接的
支援

綾町農家支援センター
地元の生産者・NPO・事業者等

間接的支援

中間支援部会の役割



8月12日・9月29日・10月28日・11月5/1 /21 日
12月2/16/22日・1月6/8/19/13/28日
2月9日/17日

16回のミーティングを重ね本事業を成功に
導くために意見交換を実施

■綾町エコパーク推進室

事務局・進捗管理・商品開発

■日本政策金融公庫 宮崎支店

事業(資金)計画を指導

■公益財団法人 宮崎県産業振興機構

商品開発・事業計画を指導

■NPO法人 宮崎文化本舗

企画・デザイン・情報発信

■一般社団法人 てるはの森の会

企画・デザイン・情報発信

まちづくり協議会内に「支援部会」を設置 認証制度の構築と「農家支援センター」の支援

①取組1:エコパーク認証商品の制度設計(基準や利用規定)

検討を踏まえて綾町独自の制度の策定に取り組む

②取組2-①～③試作品開発→試験販売→広報活動

認定商品のモデル商品の試作品を開発。試作品の試験販売を踏まえ販売戦略を立て、広報計画を策定する。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
① 事務局＋産業振興機構	類似事例の収集・制度設計に関するたたき台の作成
②政策金融公庫＋文化本舗 ＋てるはの森の会	商品開発のアドバイス、パッケージデザイン、流通、ネーミング等ブランド化の支援。広報に関する協力

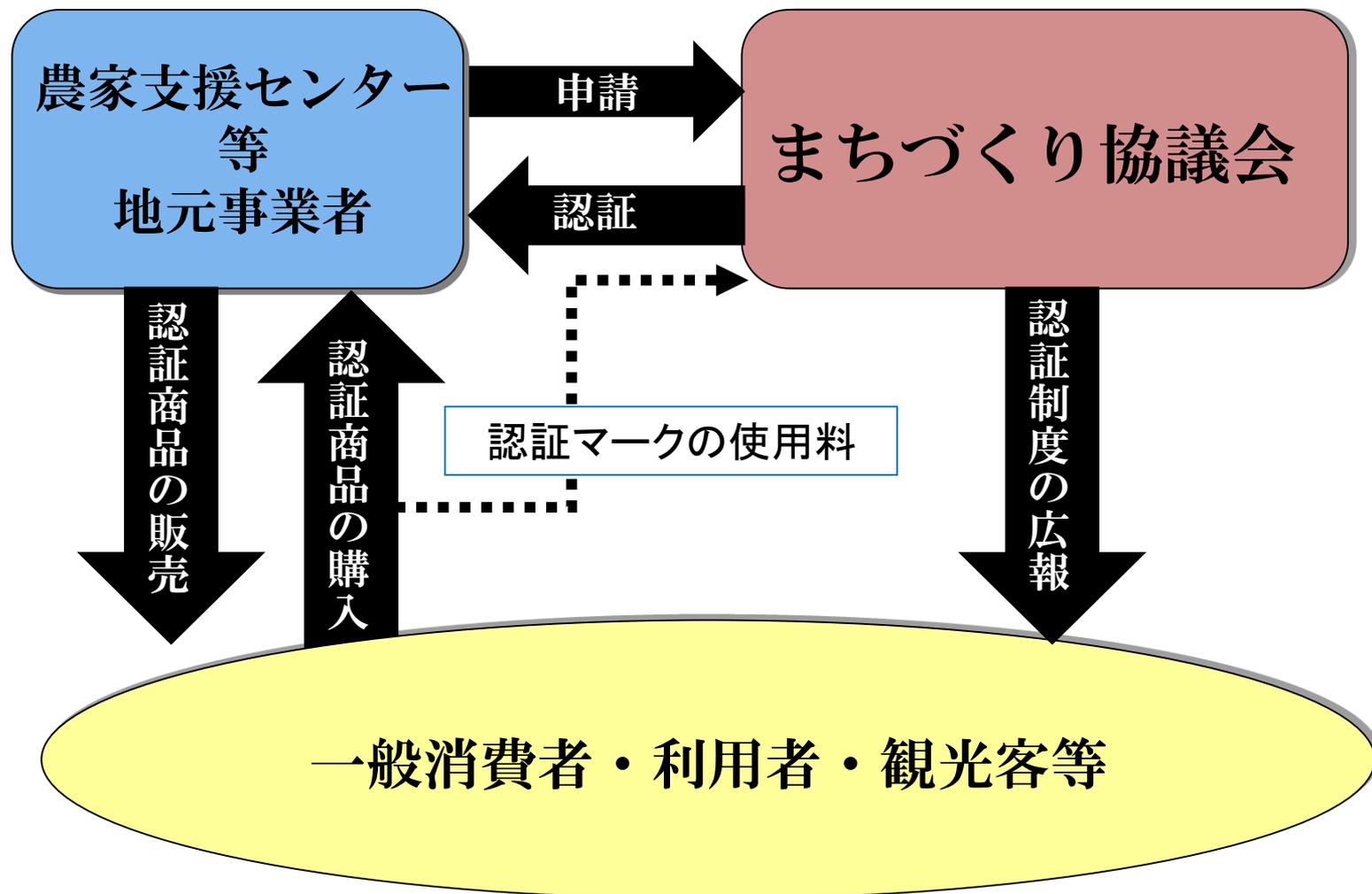
◎成果目標

成果目標	現状	目標
エコパーク認定制度の確立	土産品として特化した商品がない	WEB等での告知を月100人に増加
名産品の商品化	名産品というイメージが備わっていない	2品 程度の商品化目標。26年度内で1ヶ月あたり300,000円程度の売り上げ。
地域づくりの中間支援機能の強化	中間支援の組織が民間ではない	年1～2案件の商品開発に取り組むことで、地域づくりの中間支援を強化する。

綾町産にこだわったブランド作り



綾エコパーク ほんもの倶楽部



ほんもの倶楽部 認証制度の構築

対象となる事業者

- ① 綾町内に生産施設を有する事業者
- ② 綾町内で活動する団体若しくは協同組合等
- ③ 前各号にあげる者のほか、会長が特に認めた者

対象となる商品等

- ① 綾町で栽培・採取・捕獲された一次産品を原料又は材料として綾町内で加工したもの
- ② 綾町内で制作された工芸品等
- ③ 綾町内で提供される体験活動等のサービス
- ④ 前各号にあげるもののほか、会長が特に認めたもの

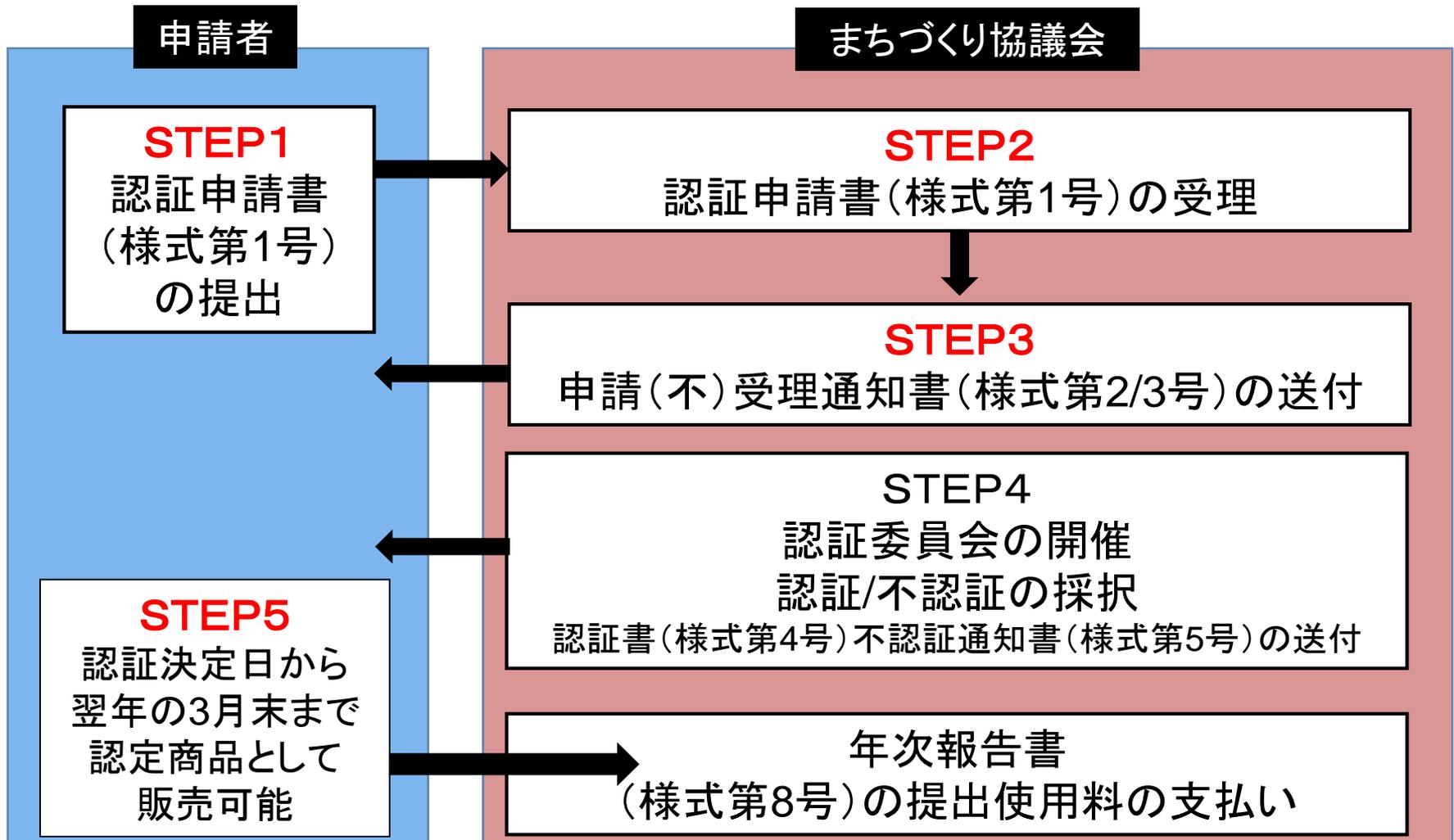
認定委員会の設置と基準の整備

採点の基準（1項目5点満点）

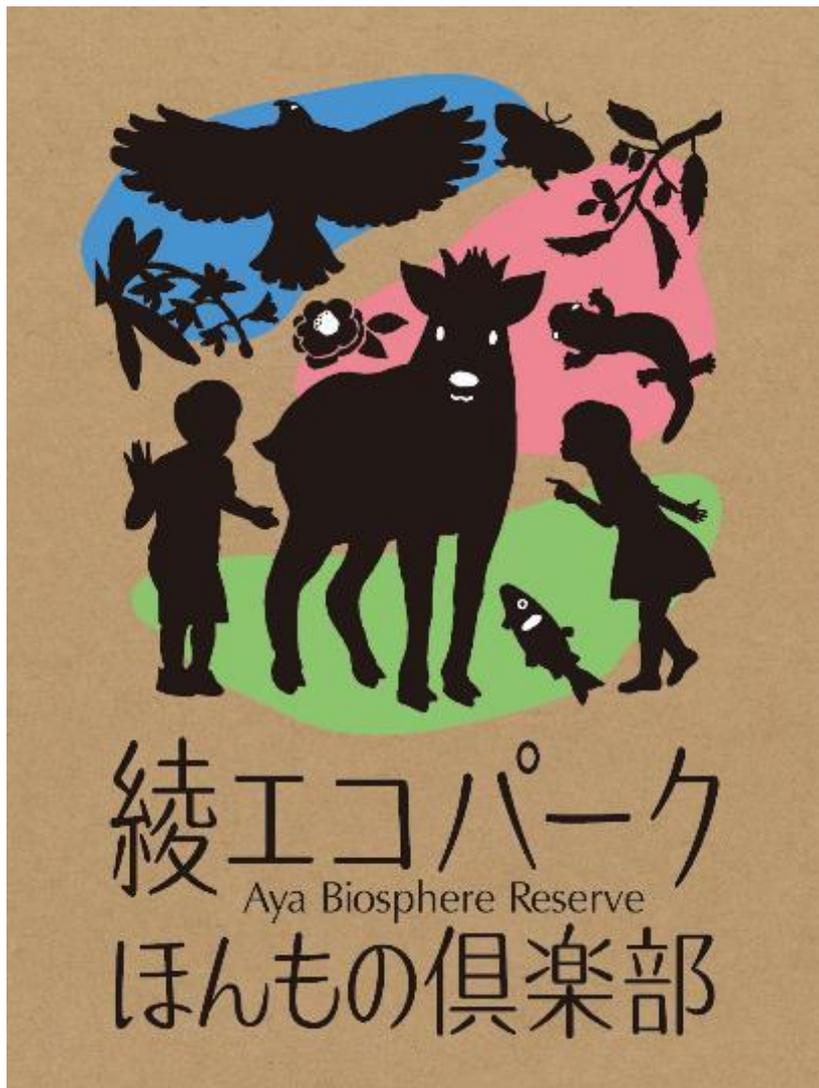
全ての項目において4.0以上の平均点をとることが条件

- (1) 名称や包装のデザインが綾ユネスコ エコパークのプラスの都市イメージを発信するもの、または本市の伝統品または産品として長年生産されており、既に本町の製品として認知されているものであること
- (2) 本町の地域ブランドとしての品質を有すること
- (3) 販路拡大に積極的で、本町の情報発信に協力が得られる事業者の製品であること
- (4) 製品の安全・安心の確保、品質の適正表示等がされていること
- (5) 関係法令を遵守していること
- (6) 商品の差別化、高付加価値化が見込まれるものであること
- (7) 公序良俗に反するものでないこと
- (8) 特定の政治活動、宗教に関連があるものではないこと

綾 エコパークほんもの倶楽部 認証の手順



ほんものの倶楽部 認証マークの制定



綾エコパーク
Aya Biosphere Reserve
ほんものの倶楽部



綾エコパーク
Aya Biosphere Reserve
ほんものの倶楽部

ロゴの住み分けと 使用に関する規定の整備



日本語表記



英語表記



ユネスコによる
BRマーク

綾町独自の
BRマーク

推奨商品の
認証マーク

認証商品第一号の試作・試験販売

綾のばあちゃん手づくりみそ



認証商品第一号の試作・試験販売 「綾の米」「芋焼酎・あだのなかや」



「綾の米」は1ヶ月半の
試験販売で14,000円/月



焼酎はネーミングを全国から募集
4月以降の販売開始を予定

宮崎県物産館（新宿）で試験販売実施



2015年
2月18日(水)
~20日(金)

@宮崎県物産館
KONNE

試食&モニター調査を実施

- 試食していただいた全員から「美味しい」との回答が得られた。
- 800円という価格が高いと言われた方が約4分の1の22%いた。
- パッケージに関するインパクトのあるものが望まれた。
- 認証マークの説明不足。

※ 試食されて約42%が購入された。買わない理由は、荷物になるという理由が大半を占めた。

※ 購入した方は40～60代の女性が大半を占めていた。

■ 味の良さは認めていることが多いことから、この層に時間をかけながら情報を発信することで、販売戦略を改善していけば販路を拡大することができるのではないかと考えられる。

WEBでの広報基盤の整備



綾エコパーク
Aya Biosphere Reserve
ほんもの倶楽部



地域づくり支援ネット
Regional Development Support Network

HOME

配送・送料について

お問合せ

カートを見る



綾のばあちゃん



受け継がれる製法

素朴でふくよかな旨みを

<http://aya-honmono.com/>

広報の支援 アプリの開発とパンフレットの作成

人と自然が共生する照葉樹林都市
ユネスコエコパーク綾
を10000%楽しむパンフレット



綾町ユネスコエコパークまちづくり協議会



綾エコパークほんもの倶楽部とは？

綾ユネスコエコパークのまちづくりを推進するために、住民の有志と行政組織が協力し官民協働で立ち上げた「綾町ユネスコエコパークまちづくり協議会」が認定するエコパークならではの商品やサービスのブランドです。

綾の自然がもたらした水や大地で育成された主原料を使った商品や、エコパークの特性を活かしたサービス等を認定したものだけを「綾エコパークほんもの倶楽部」の基準を設け、クリアしたものだけを認証商品としてお届けいたします。



2015年4月より認証商品を随時販売開始いたします！



認証商品の第一弾は「ばあちゃんの手づくり味噌」お米や、焼酎などの食品をはじめ、エコツアーなどのサービスも追加していく予定です。
ご購入ご希望の方は「綾エコパークほんもの倶楽部」のWEBページから、またはアプリをダウンロードしてご注文ください！

綾エコパークほんもの倶楽部 専用アプリをゲットしよう！



ダウンロードは簡単＆無料！

「綾エコパークほんもの倶楽部」専用アプリをダウンロードすると認証商品のショッピングができます。クレジット決済でカンタン対応！

綾町の観光名所の地図や案内グルメ情報やイベントの情報等が簡単にご覧になれます。料金は無料、またダウンロードした方には抽選で毎月1名様にプレゼントを進呈！
アンドロイド版・iphone版とも対応。ぜひこの機会にダウンロードしてみませんか！



ショッピングサイトと 観光まちづくりと一体となったアプリ



- 通販ショップ
- 観光施設案内(GPS対応)
- グルメ情報
- ふるさと納税
- 会員登録(リピーターの確保)
- イベント情報
- お問い合わせ等



ダウンロードした
型の中から抽選で
毎月1名様に綾の
名産品をプレゼン
トします！



平成26年度の目標と成果

成果の項目	当初の目標	26年度の成果
エコパーク認証 制度の確立	WEB等での告知を 月100人に増加	アプリ・WEB・ 紙媒体の整備で 対応可能に
名産品の 商品化	2品程度商品化。 300,000円／月の 売上げを目指す	米・味噌(完成) 焼酎(4月以降) 売上14万／月(米)
地域づくりの 中間支援機能 の強化	年1～2案件の 商品開発で 支援機能を強化	中間支援機能の 体制が今回の 事業で整備された

※ 下記の長雨等で商品開発に要する原材料の調達が予定より大幅に遅れたため

平成27年度以降の支援体制

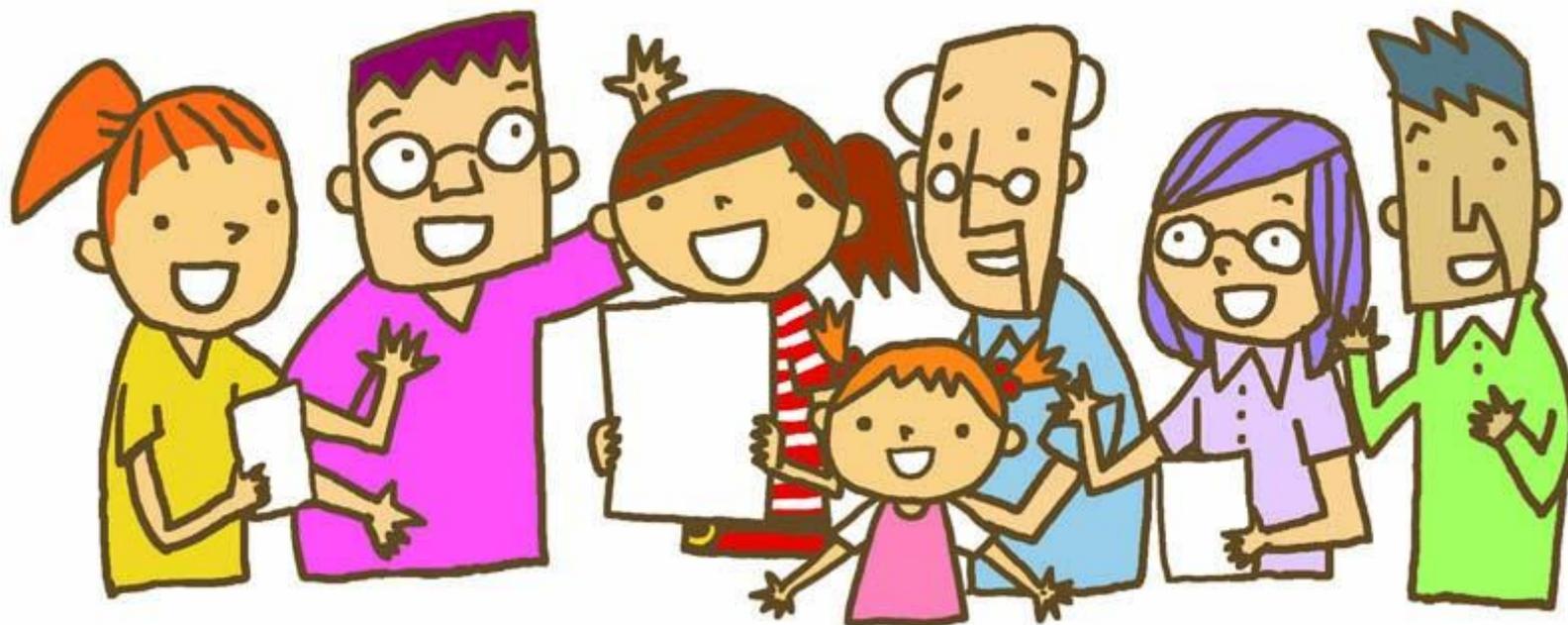
今年度、金融機関や公益財団、NPO等との有機的な支援体制が構築できたメリットは大きい。来年度以降の本格的展開に期待ができる。

認証制度が確立でき、次年度以降は、今年度に培われたノウハウを活かした展開ができる(焼酎・キムチ等が既に準備されている)

役場が事務局を担っているが、総務省の「地域起こし協力隊」等の制度を活用し、「協議会」自体の純・民営化、また人材の育成に努めていく。

協議会自体に、お金が入ってくるシステムを取り入れ、自主事業的なものに取り組んでいきたい。

住民たちのアイデアが実現する仕組み…



住民 × 町 = 事業

綾ユネスコ エコパーク独自のまちづくりが始動します！

ご清聴
ありがとうございました！



綾エコパーク
Aya Biosphere Reserve

ほんもの倶楽部

